

ALP・LD の測定法変更に伴う基準値変更のお知らせ

ALP（アルカリホスファターゼ）およびLD（乳酸脱水素酵素）の測定法については、JSCC法（日本臨床化学会）が用いられてきましたが、国際的には臨床・学術面の両面で広く評価されているIFCC法（国際臨床化学連合）が採用されています。日本臨床化学会から測定方法をJSCC法からIFCC法に変更するとの発表がありました。これにより、日本国内のALP・LDの測定方法が世界的に普及している測定方法に変わり、日本国内の測定値は各国の測定値と互換性を持つことになり、検査のグローバル化が進みます。

当院として、2021年4月以降の測定値の基準値変更を行いますのでお知らせいたします。

ALPについては測定値が従来の約3分の1となり、基準範囲も大きく変わります。

対象項目および変更内容

ALP（アルカリホスファターゼ）およびLD（乳酸脱水素酵素）の2項目

JSCC法（日本臨床化学会）からIFCC法（国際臨床化学連合）への切り替え

変更の時期

2021年4月より変更開始

基準値変更の詳細

検査項目	変更箇所	新	現
ALP	検査方法	IFCC	JSCC
	基準値	38～113 U/L	100～340 U/L
LD	検査方法	IFCC	JSCC
	基準値	124～222 U/L	115～245 U/L

・当院健診におけるALP・LDの検査項目も同様の新基準値となります。